

2023年2月期（2022年度） 決算補足資料

イノベーションとコミュニケーションで
社会の豊かさを支える

株式会社ベルシステム24ホールディングス

2023年4月12日

証券コード：6183



- 売上収益は1,561億円で、前年度比+6.5%の増収
- 営業利益は149億円、当期利益は93億円で、前年度比でそれぞれ+12.7%、+4.3%の増益
- 売上収益、営業利益、当期利益ともに2015年度の上場以降の最高値を達成

| | | | | |
|------|----------------------|----------|------|----------|
| 連結業績 | 売上収益 | 1,561 億円 | 前年度比 | + 6.5 % |
| | 営業利益 | 149 億円 | 前年度比 | + 12.7 % |
| | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 93 億円 | 前年度比 | + 4.3 % |

2023年2月期（2022年度）決算概要

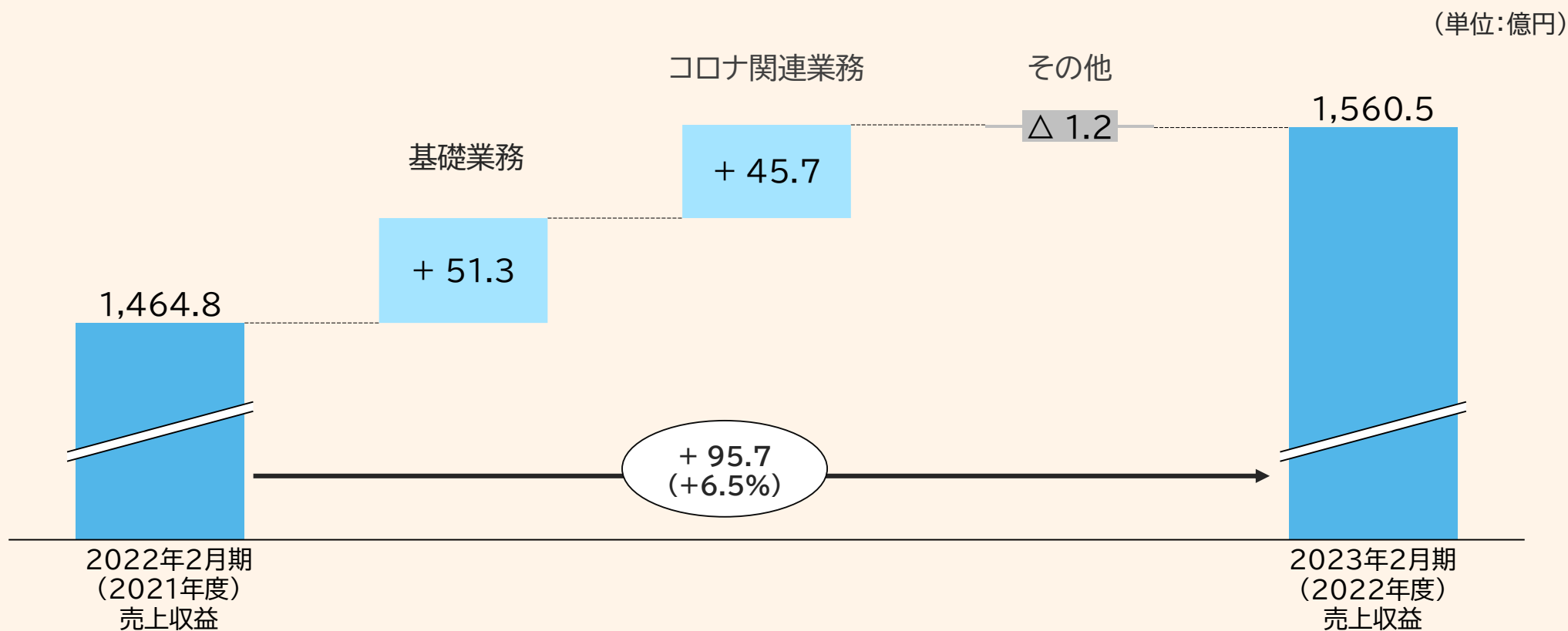
- 売上収益は1,560.5億円と前年度比+95.7億円(+6.5%)の増加
 - ・ 基礎業務は1,330.5億円、前年度比+51.3億円(+4.0%)、一方、コロナ関連業務は、主にワクチン業務の拡大により221.1億円、前年度比+45.7億円(+26.0%)
- 営業利益は売上収益の増収効果等により149.2億円と前年度比+16.9億円(+12.7%)、当期利益は93.3億円と前年度比+3.9億円(+4.3%)の増加
- 売上収益、営業利益、当期利益のいずれも計画を達成

(単位:億円)

| | 2022年2月期 (2021年度) | 2023年2月期 (2022年度) | 前年度比 増減額 | 前年度比 増減率 | 連結業績予想 (計画) | 達成率 |
|------------------|----------------------|----------------------|-------------|-------------|----------------|--------|
| 売上収益 | 1,464.8 | 1,560.5 | + 95.7 | + 6.5% | 1,480.0 | 105.4% |
| 内、基礎業務 | 1,279.2 | 1,330.5 | + 51.3 | + 4.0% | 1,331.0 | 100.0% |
| 内、コロナ関連業務 | 175.4 | 221.1 | + 45.7 | + 26.0% | 140.0 | 157.9% |
| 内、その他 | 10.2 | 9.0 | △ 1.2 | △ 12.1% | 9.0 | 100.0% |
| 営業利益 | 132.3 | 149.2 | + 16.9 | + 12.7% | 140.0 | 106.5% |
| 営業利益率 | 9.0% | 9.6% | | | 9.5% | |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 89.4 | 93.3 | + 3.9 | + 4.3% | 92.0 | 101.4% |

2023年2月期（2022年度）売上収益の増減分析

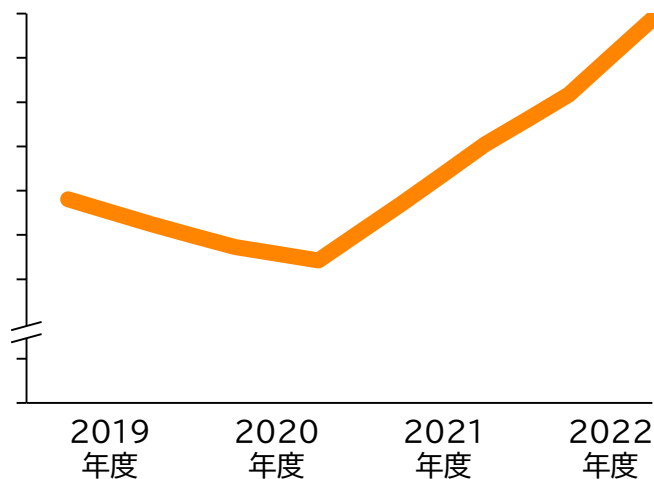
- 売上収益は1,560.5億円で、前年度1,464.8億円から+95.7億円(+6.5%)の増加
- 基礎業務は前年度比+51.3億円(+4.0%)、コロナ関連業務は前年度比+45.7億円(+26.0%)と、それぞれ増加



- 人材・教育関連業務では、コロナ禍が落ち着く中での採用活動が下期に一段と活発化し、中途斡旋関連の業務が増加
- 非対面関連業務では、Eコマース関連業務において、前年度に比べて一部で対面販売に戻る動きもあり伸び悩みが見られるものの、今年度はデリバリー関連業務や保険金の問い合わせ業務が牽引し、着実な増加
- キャッシュレス決済関連業務では、今年度上期まで減少していたQRコード決済関連業務が下期に増加に転じたことに加え、クレジットカード関連業務も着実に増加

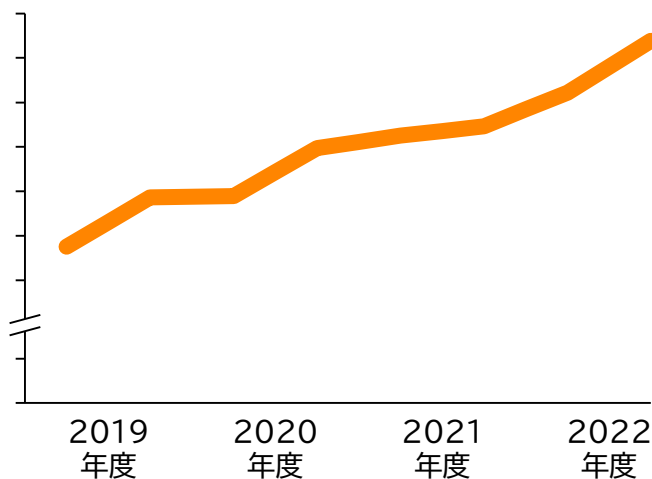
人材・教育関連業務

売上収益推移



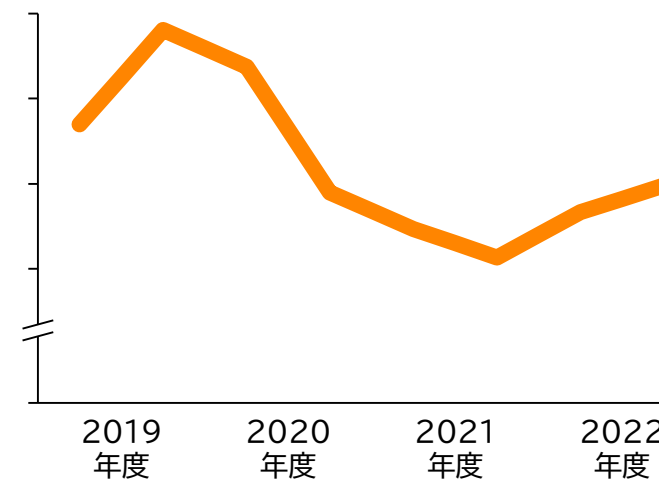
非対面関連業務

売上収益推移



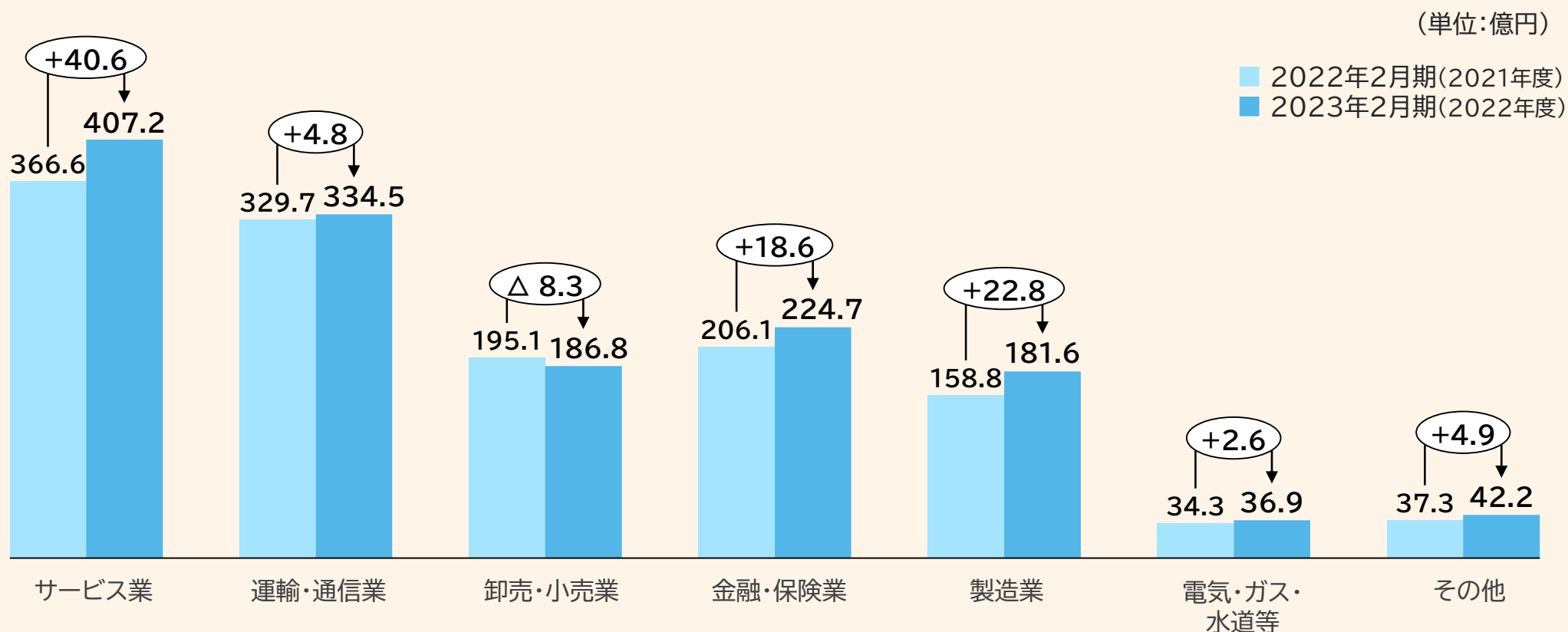
キャッシュレス決済関連業務

売上収益推移



2023年2月期（2022年度）業種別売上収益

- 「サービス業」は、人材・教育関連業務、デリバリー関連業務等の拡大を中心に+40.6億円の増加
- 「金融・保険業」は、保険関連、キャッシュレス決済関連の業務拡大等により+18.6億円の増加
- コロナ関連業務は、主に「サービス業」、「製造業」に含まれる

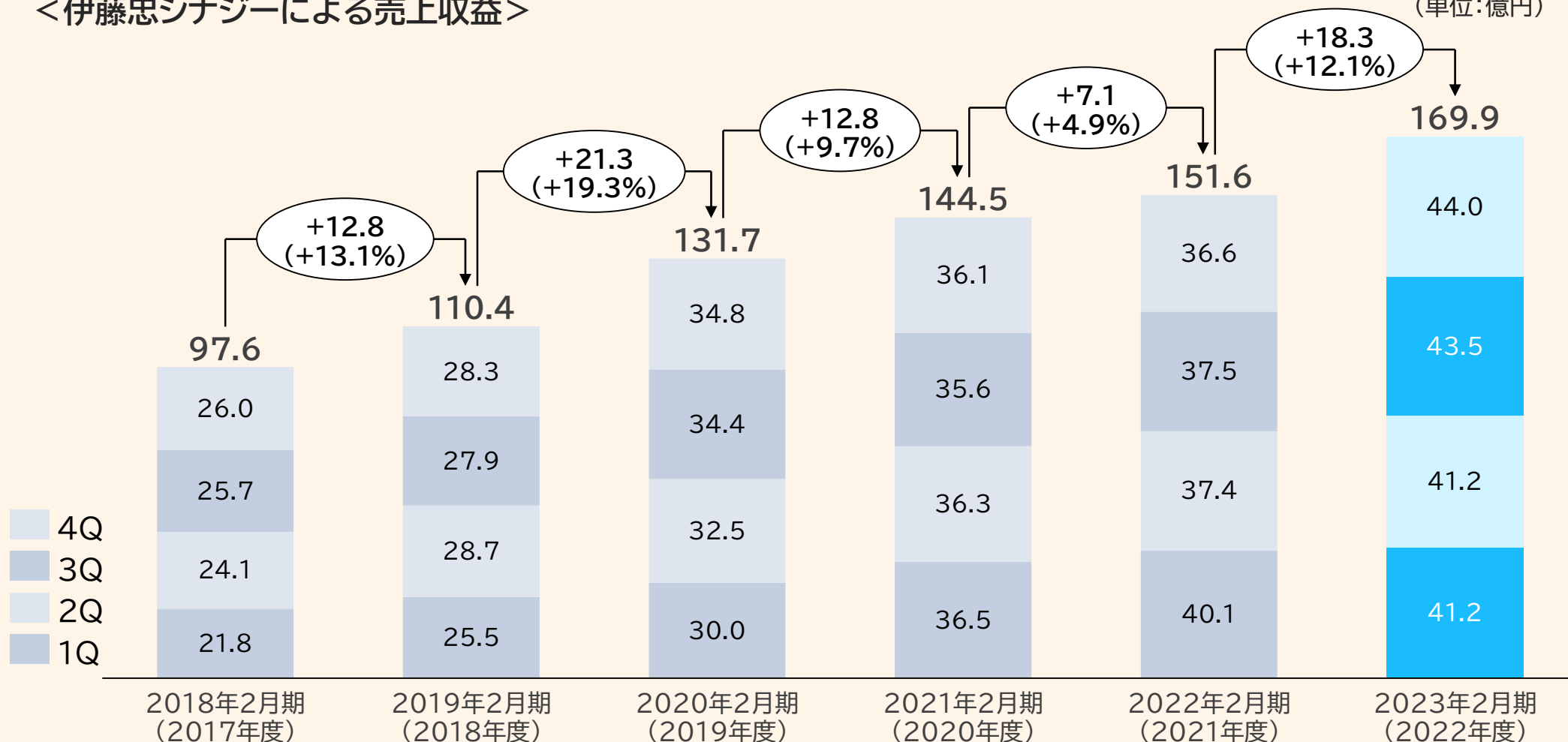


※ (株)ベルシステム24単体の売上収益上位300社が対象

伊藤忠シナジーの売上収益は、169.9億円、前年同期比+18.3億円(+12.1%)と着実に増加

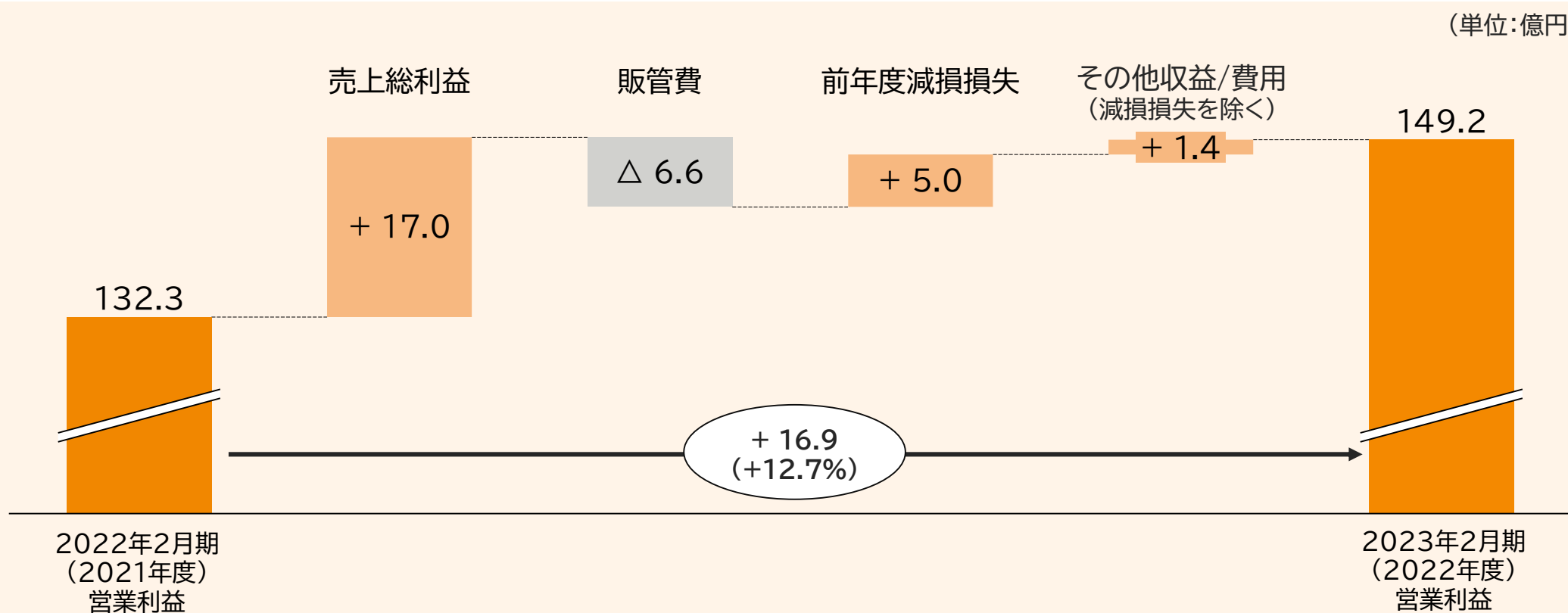
<伊藤忠シナジーによる売上収益>

(単位:億円)



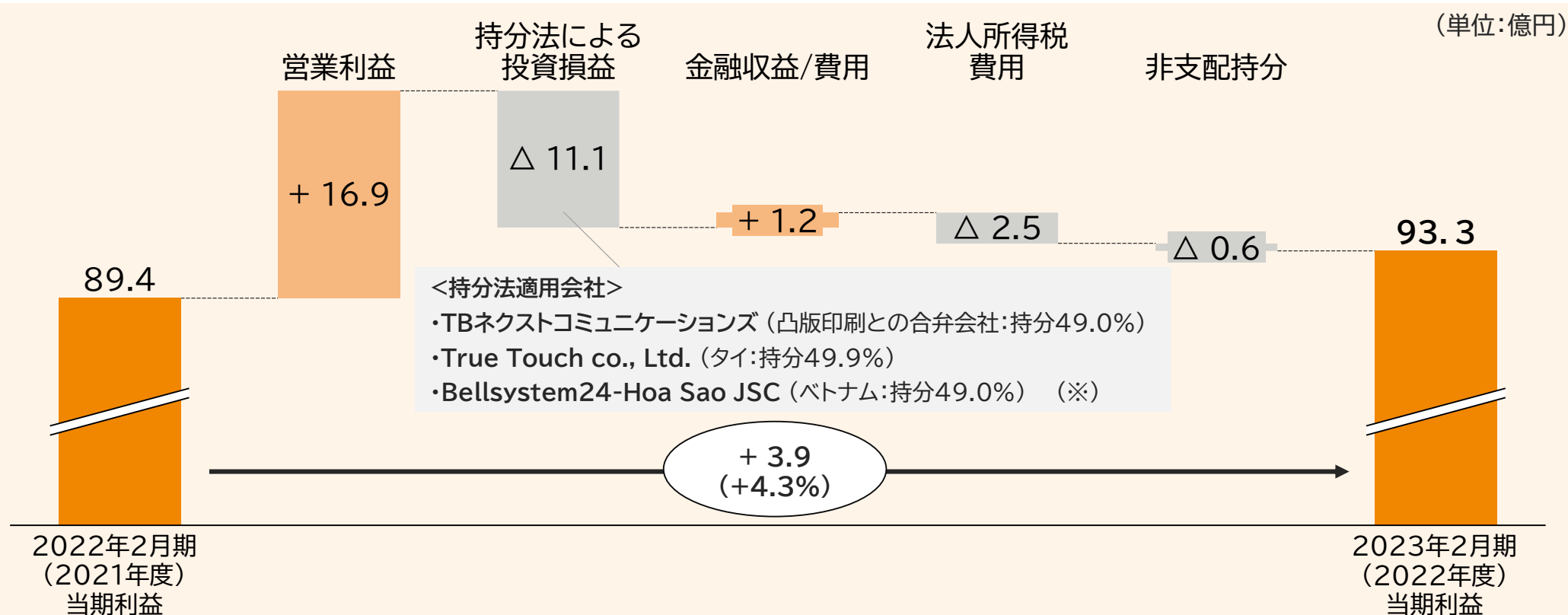
2023年2月期（2022年度） 営業利益の増減分析

- 営業利益は149.2億円で、前年度比+16.9億円(+12.7%)と大幅に増加
- 売上総利益は、基礎業務、コロナ関連業務の増収効果により、前年度比+17.0億円の増加
- 販管費は、本社移転関連費用が減少した一方、会計システムの更改を含めたITシステム費用の増加、ブランド戦略強化に伴う広告宣伝費の増加等により、前年度比△6.6億円の減益要因
- 前年度に計上した子会社の減損損失の反動により+5.0億円の増益要因



2023年2月期（2022年度） 当期利益の増減分析

- 当期利益は93.3億円で、前年度比+3.9億円(+4.3%)の増加
 - 持分法による投資損益は、前年度比△11.1億円の減少
 - ・ TBネクストコミュニケーションズは、前年度のコロナ関連業務による好業績の反動減により減少
 - ・ タイのTrue Touchは、コロナ禍での事業拡大ペースが遅れ、持分法投資に係る減損損失を計上し、前年度比で減少
 - ・ ベトナムのBellsystem24-Hoa Sao (※) は、前年度比で横ばい
- ※ Bellsystem24-Hoa Sao JSC は、2023年3月に株式を追加取得して子会社化、BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc.に社名変更



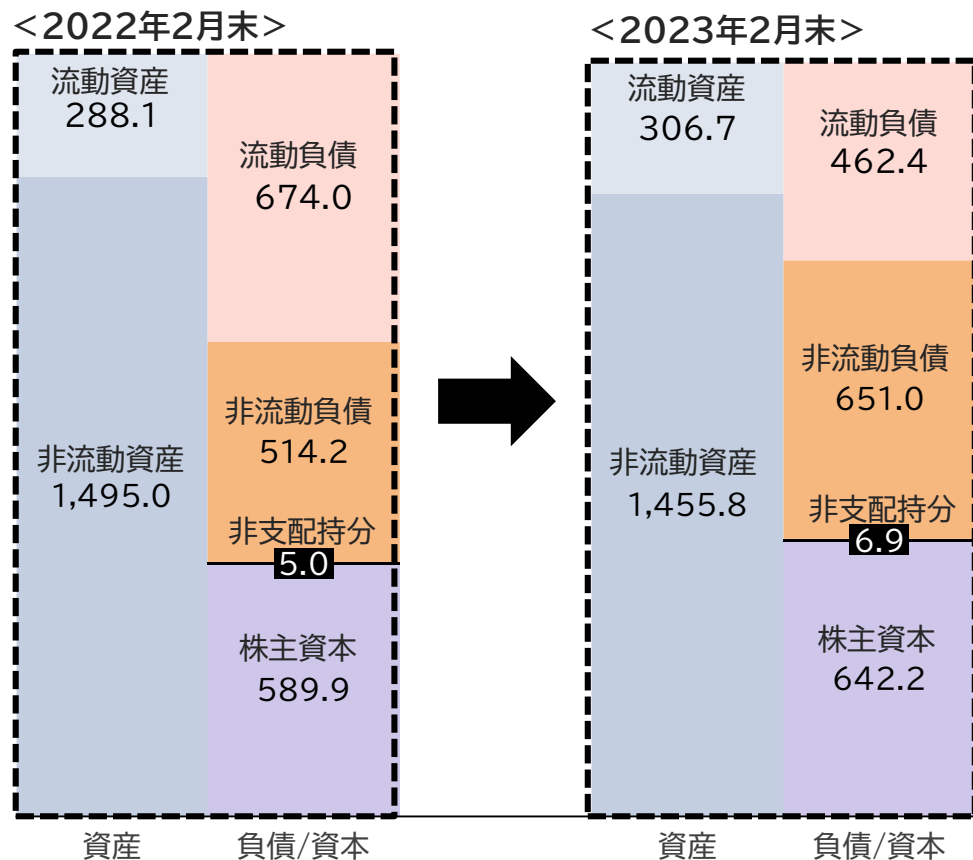
※ 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年2月期（2022年度）連結財政状態計算書

- 2023年2月末の株主資本は642.2億円と、前年度末589.9億円から+52.3億円の増加
- 株主資本比率は前年度末比+3.3%上昇して36.4%と、每期確実な上昇を継続

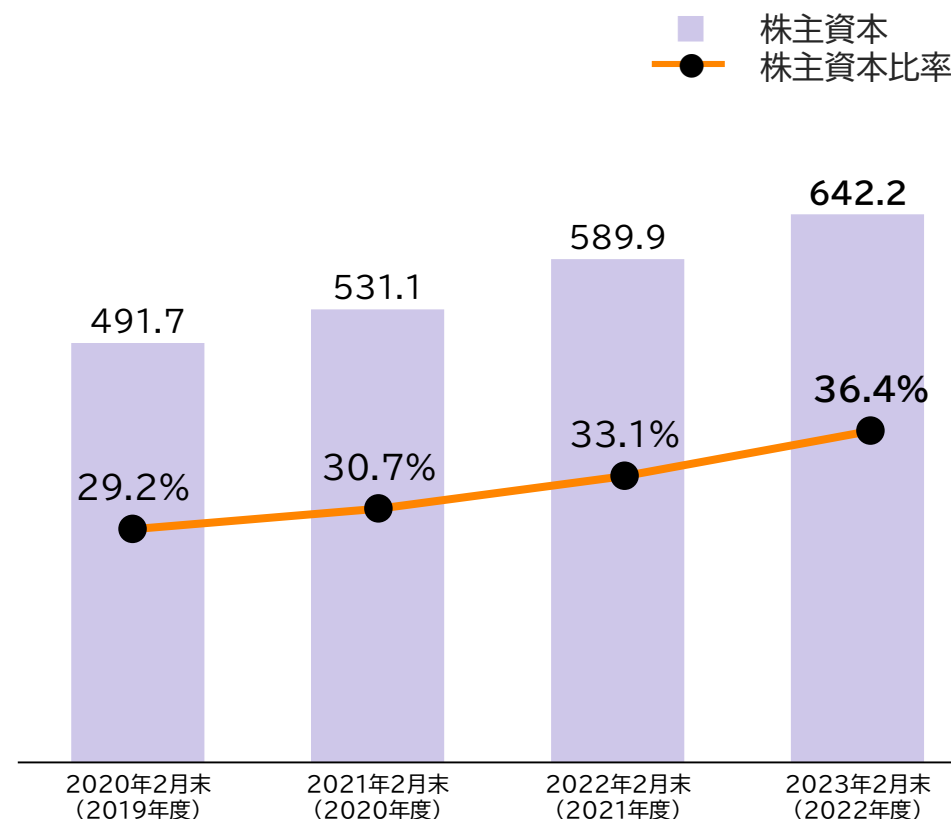
連結財政状態計算書の概要

(単位:億円)



株主資本比率の推移

(単位:億円)



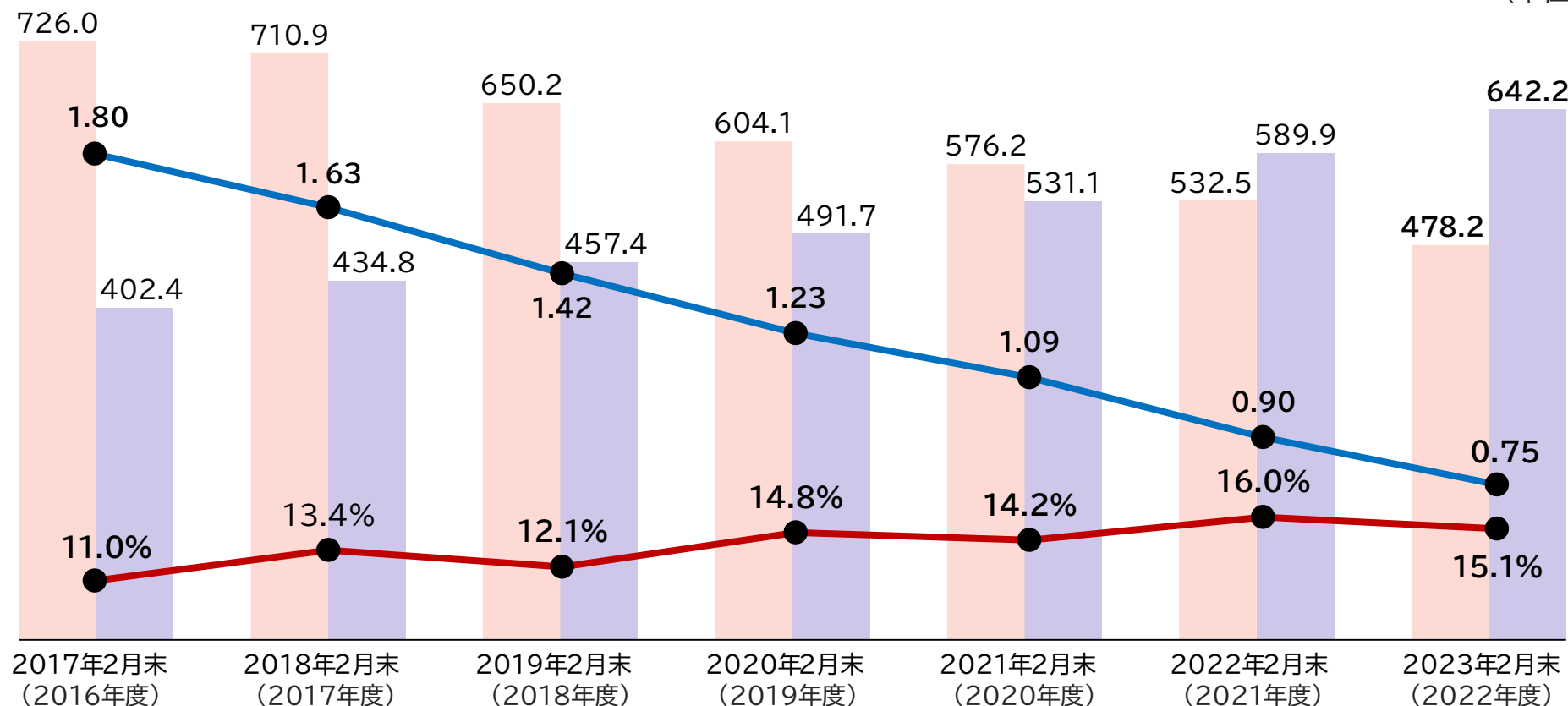
※ 株主資本 = 親会社の所有者に帰属する持分

2023年2月期（2022年度） ROE / Net DERの状況

- 2022年度のROEは15.1%と高水準を維持
- ネット有利子負債残高は478.2億円と、前年度末532.5億円から△54.3億円の減少、Net DERは0.75倍に改善

ROE / Net DER等の推移

(単位:億円)



■ Net有利子負債 ● Net DER
■ 株主資本 ● ROE

※ 株主資本 = 親会社の所有者に帰属する持分

2023年2月期（2022年度）連結キャッシュ・フロー計算書

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー +181.7億円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ▲18.0億円

<主な内容>

設備投資

・有形・無形資産の取得による支出 ▲17.7億円

事業投資

・有価証券の取得による支出 ▲5.3億円

(クレジットカード業界向けフィンテック
ビジネスでの新サービス拡大を目的と
した当該事業等への出資)

・有価証券の売却による収入 +14.4億円
(医薬関連株式の売却によるもの)

・エスクロー口座への振替による支出 ▲7.2億円
(Bellssystem24-Hoa Sao社の株式譲渡
契約で定める取得対価の一部拠出額)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー ▲155.8億円

<主な内容>

・短期/長期借入金の増減額 ▲46.8億円

・配当金の支払額 ▲44.1億円

・リース負債の返済による支出 ▲64.2億円
(使用権資産に係る支出額)

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:億円)

| | 2022年2月期 (2021年度) | 2023年2月期 (2022年度) |
|--------------------|----------------------|----------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 162.8 | 181.7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 24.3 | ▲ 18.0 |
| 内、有形・無形資産の取得による支出 | ▲ 20.7 | ▲ 17.7 |
| 内、有価証券の取得による支出 | ▲ 1.0 | ▲ 5.3 |
| 内、有価証券の売却による収入 | — | 14.4 |
| 内、エスクロー口座への振替による支出 | — | ▲7.2 |
| フリーキャッシュ・フロー | 138.5 | 163.7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 131.8 | ▲ 155.8 |
| 内、短期借入金の増減 (△は減少) | ▲ 8.0 | 51.0 |
| 内、長期借入れによる収入 | 120.0 | 240.0 |
| 内、長期借入金の返済による支出 | ▲ 149.4 | ▲ 337.8 |
| 内、配当金の支払額 | ▲ 33.1 | ▲ 44.1 |
| 内、リース負債の返済による支出 | ▲ 60.9 | ▲ 64.2 |

※ フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

2024年2月期

(2023年度)

業績予想

2024年2月期（2023年度）業績予想(計画)概要

- 売上収益は、基礎業務が大幅に増加する一方、コロナ等国策関連業務の減少が見込まれることから、合計では前年度比+9.5億円増加の1,570.0億円を見込む
- 営業利益は、前年度比△11.2億円減少の138.0億円を見込む
- 当期利益は、前年度比△5.3億円減少の88.0億円を見込む

(単位:億円)

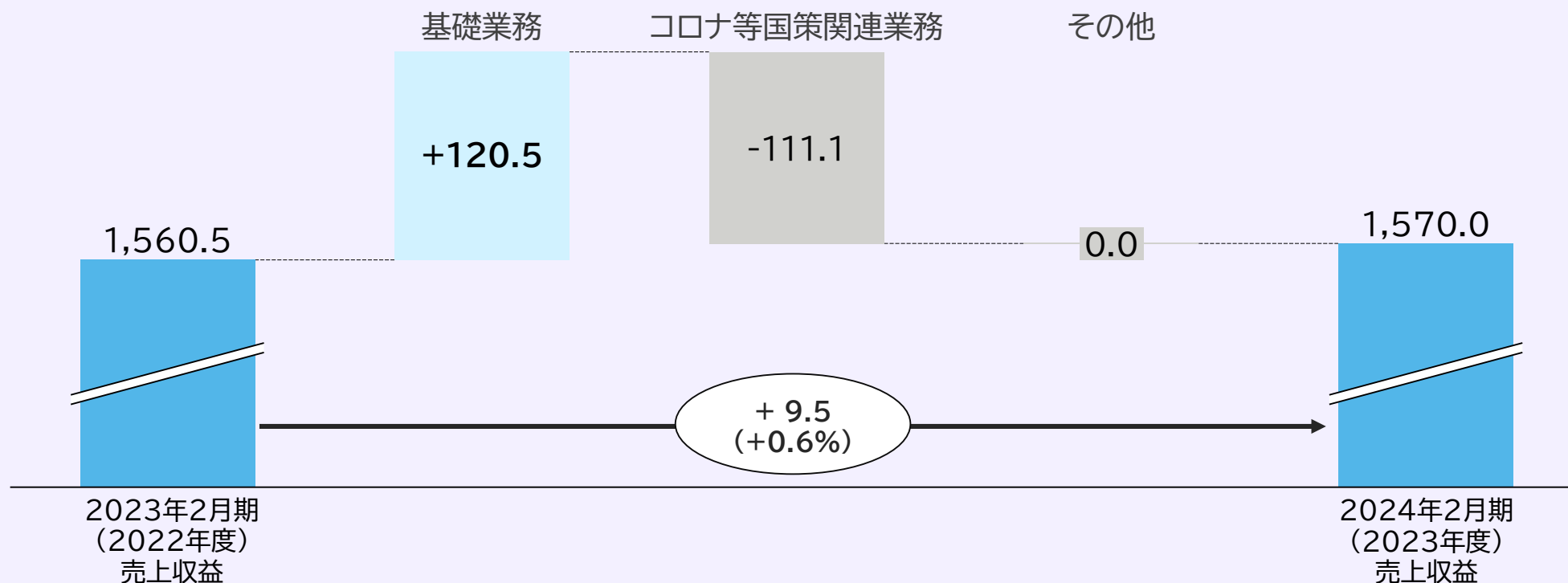
| | 2023年2月期 (2022年度) | 2024年2月期 (2023年度) | 前年度比 増減額 | 前年度比 増減率 |
|-------------------------|----------------------|----------------------|-------------|-------------|
| 売上収益 | 1,560.5 | 1,570.0 | + 9.5 | + 0.6% |
| 内、基礎業務 | 1,330.5 | 1,451.0 | + 120.5 | + 9.1% |
| 内、コロナ等国策関連業務 | 221.1 | 110.0 | △ 111.1 | △ 50.2% |
| 内、その他 | 9.0 | 9.0 | + 0.0 | + 0.0% |
| 営業利益 | 149.2 | 138.0 | △ 11.2 | △ 7.5% |
| 営業利益率 | 9.6% | 8.8% | | |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 93.3 | 88.0 | △ 5.3 | △ 5.7% |

※ 2023年度の基礎業務には、BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc.の連結子会社化に伴う売上収益を含む
 コロナ等国策関連業務は、コロナ関連業務に加えて物価高対策等の経済対策に関連した業務が対象

2024年2月期（2023年度）売上収益予想（前年度比）

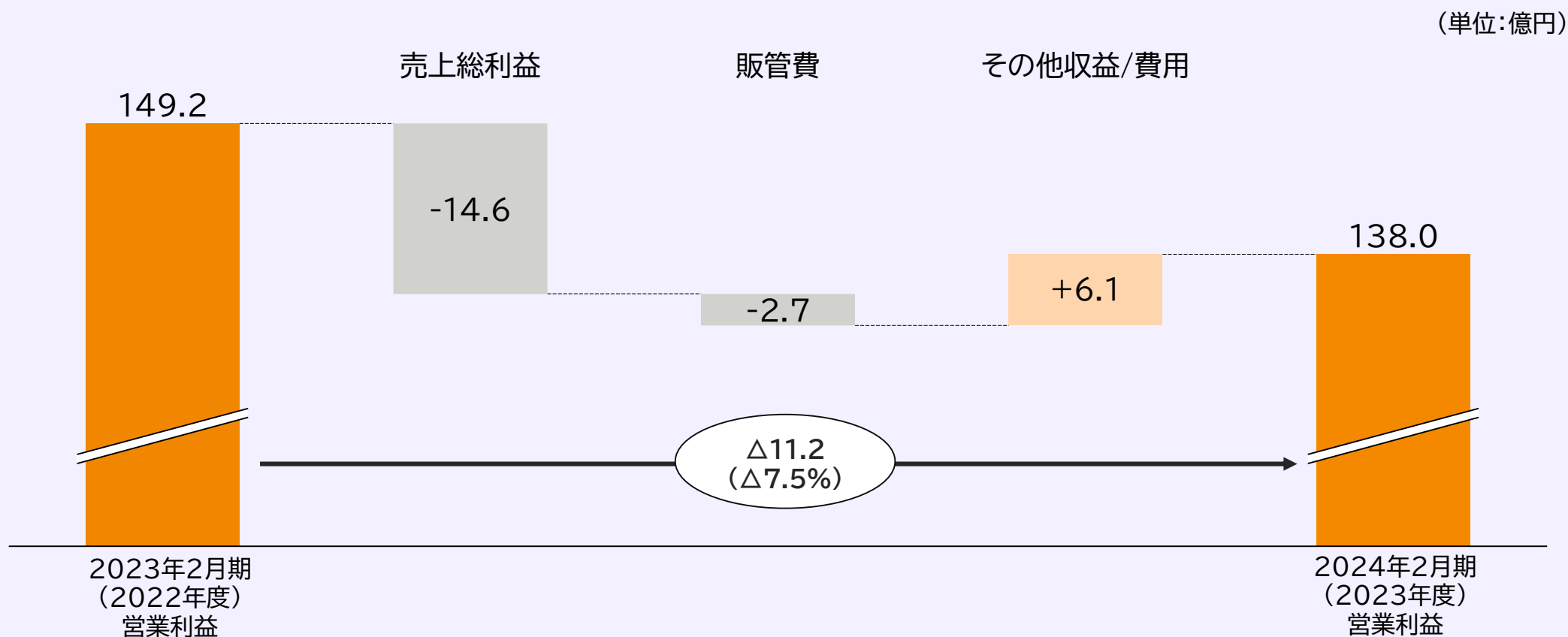
- 売上収益は、前年度比+9.5億円増加の1,570.0億円を見込む
- 基礎業務は、コロナ禍が落ち着く中、企業からのアウトソース需要が以前の水準に戻ることが見込まれると共に、新たに連結子会社となるBELLSYSTEM24 VIETNAMの売上も加わり、前年度比+120.5億円増加の1,451.0億円を見込む
- コロナ等国策関連業務は、コロナ関連業務の大幅な減少を見込むものの、物価高対策等の経済対策に関連した業務の取り込みを想定し、前年度のコロナ関連業務と比較し△111.1億円減少の110.0億円を見込む

(単位:億円)



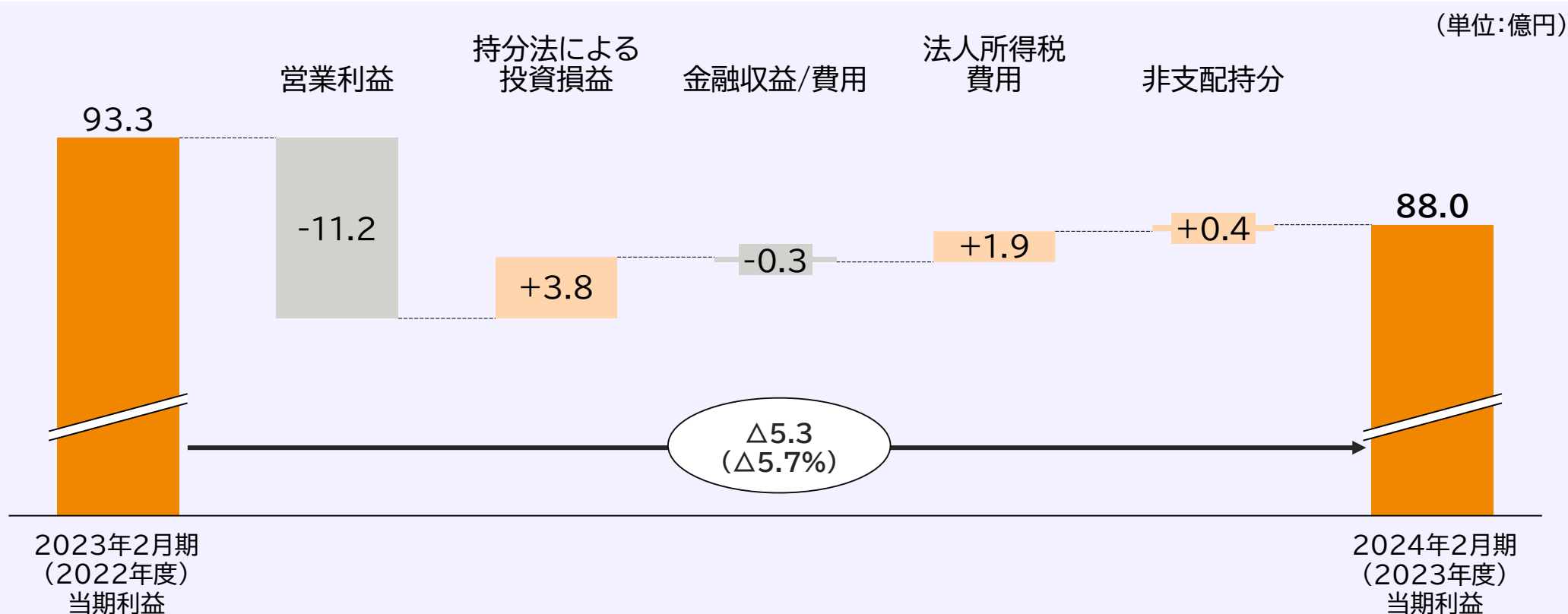
2024年2月期（2023年度） 営業利益予想（前年度比）

- 営業利益は、前年度比△11.2億円減少の138.0億円を見込む
- 売上総利益は、基礎業務が増収となるも、高収益のコロナ関連業務の減少が影響し、前年度比△14.6億円の減少を見込む
- 販管費は、新会計システムの導入・運用費用や新規連結子会社の販管費増加等により、前年度比△2.7億円の費用増加を見込む
- その他収益/費用は、持分法から連結子会社への区分変更に伴う評価差益(段階取得に係る差益)を含め、+6.1億円の増益要因を見込む



2024年2月期（2023年度） 当期利益予想（前年度比）

- 当期利益は、営業利益の減少の影響を受け、前年度比△5.3億円減少の88.0億円を見込む
- 持分法による投資損益は、Bellssystem24-Hoa Sao JSCの持分法から連結子会社への区分変更に伴う減少はあるものの、True Touch社の持分法投資に係る減損損失の反動増もあり、前年度比で+3.8億円の増加を見込む

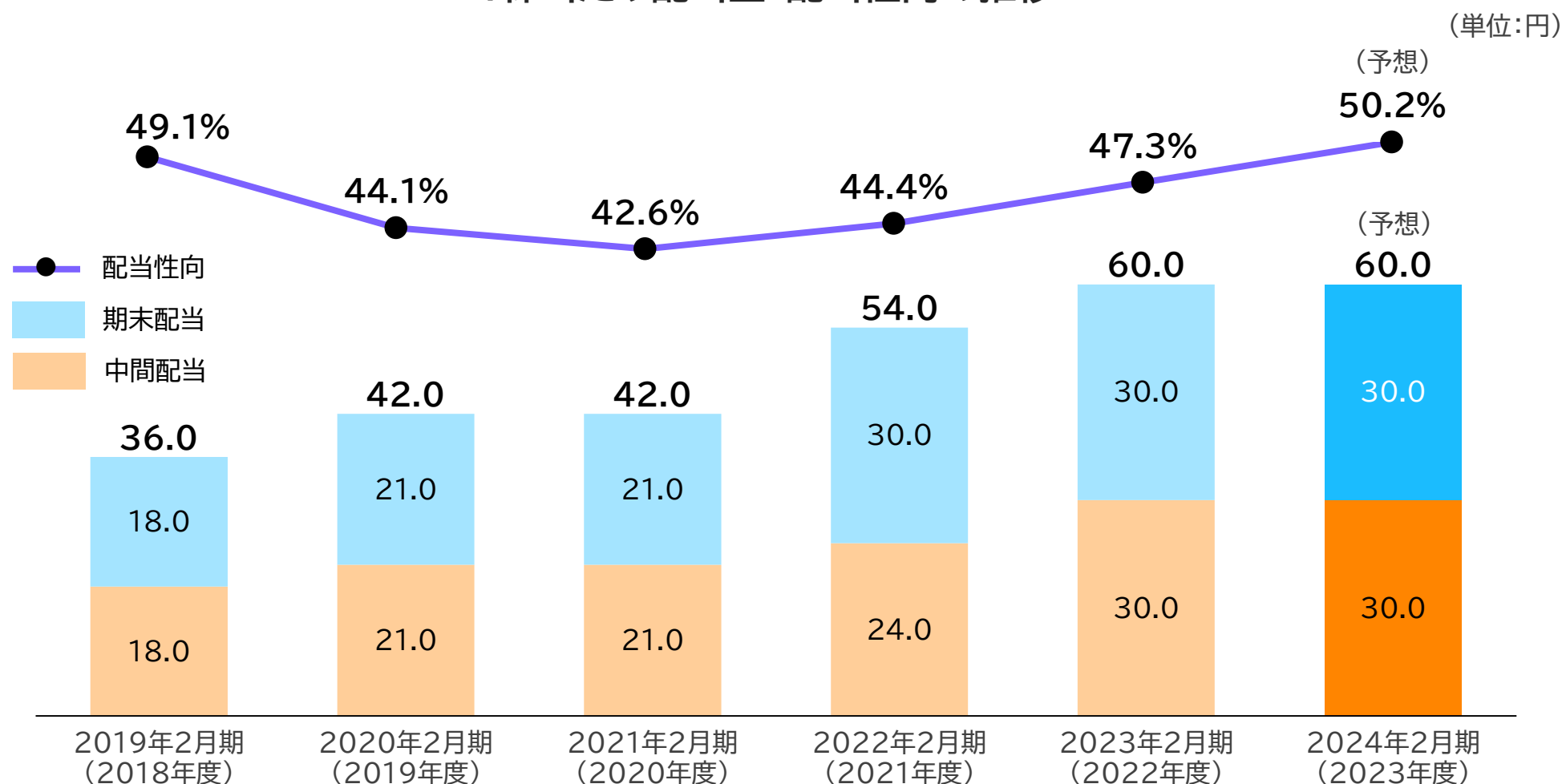


※ 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

2024年2月期（2023年度） 配当予想

- 2023年度は前年度比で減益を見込むも、年間配当金予想は、1株当たり60円を据え置き
- 連結配当性向50%を基本方針として、今後も増配の実現を目指す



1株当たり配当金・配当性向の推移



APPENDIX

連結子会社の紹介

| 会社名 | 資本金 又は出資金 | 議決権の 所有割合 | 会社概要・主な事業内容 |
|--|---------------------|--------------|---|
|  CTCファーストコンタクト株式会社 | 0.5億円 | 51.0% | 2017年7月にCTCグループのBPOサービス子会社に出資して連結子会社化 主にサービスデスクやコンタクトセンターなどの業務アウトソーシングサービスを展開 |
|  (株)Horizon One | 1億円 | 51.0% | 2022年3月に株式会社レイヤーズ・コンサルティングとの合併会社として設立 コンサルティング・BPOサービス・人材マネジメントサービスを展開 |
|  (株)ベル・ソレイユ | 0.1億円 | 100.0% | 2011年3月に障がい者の雇用推進を目的とした特例子会社として業務を開始 事務・清掃作業、オフィスカフェ運営、チョコレート製造、野菜・胡蝶蘭栽培を展開 |
| (参考)  BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc. | 100億VND (約0.6億円) | 80.0% | 2017年7月にベトナムのコンタクトセンター大手Hoa Sao社に持分49.0%出資後、2023年3月に持分比率を80.0%に引き上げて連結子会社化、BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc.に社名変更 ベトナム国内のハノイ・ホーチミン・ダナン等12拠点にて同国内でのカスタマーサポート・テレマーケティング・人材派遣等のCRMソリューションサービスを行う他、日本語スキル人材を採用・育成し、日本語オフショアサービスを展開 |

| 会社名 | 資本金 又は出資金 | 議決権の 所有割合 | 会社概要・主な事業内容 |
|---|---------------------|--------------|---|
|  TB ネクストコミュニケーションズ (株)TBネクストコミュニケーションズ | 3億円 | 49.0% | 凸版印刷との合併会社として設立 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進を支援する 次世代BPOサービスを2020年10月より展開 |
|  True Touch co., Ltd. | 1.7億THB (約6.4億円) | 49.9% | タイの通信サービス大手True Corporation Public Co., Ltd.のコンタクトセンター事業に出資 タイ国内で国内外のクライアントへサービスを提供 通信、公共、航空、外食など、様々な分野での運用を受託 |

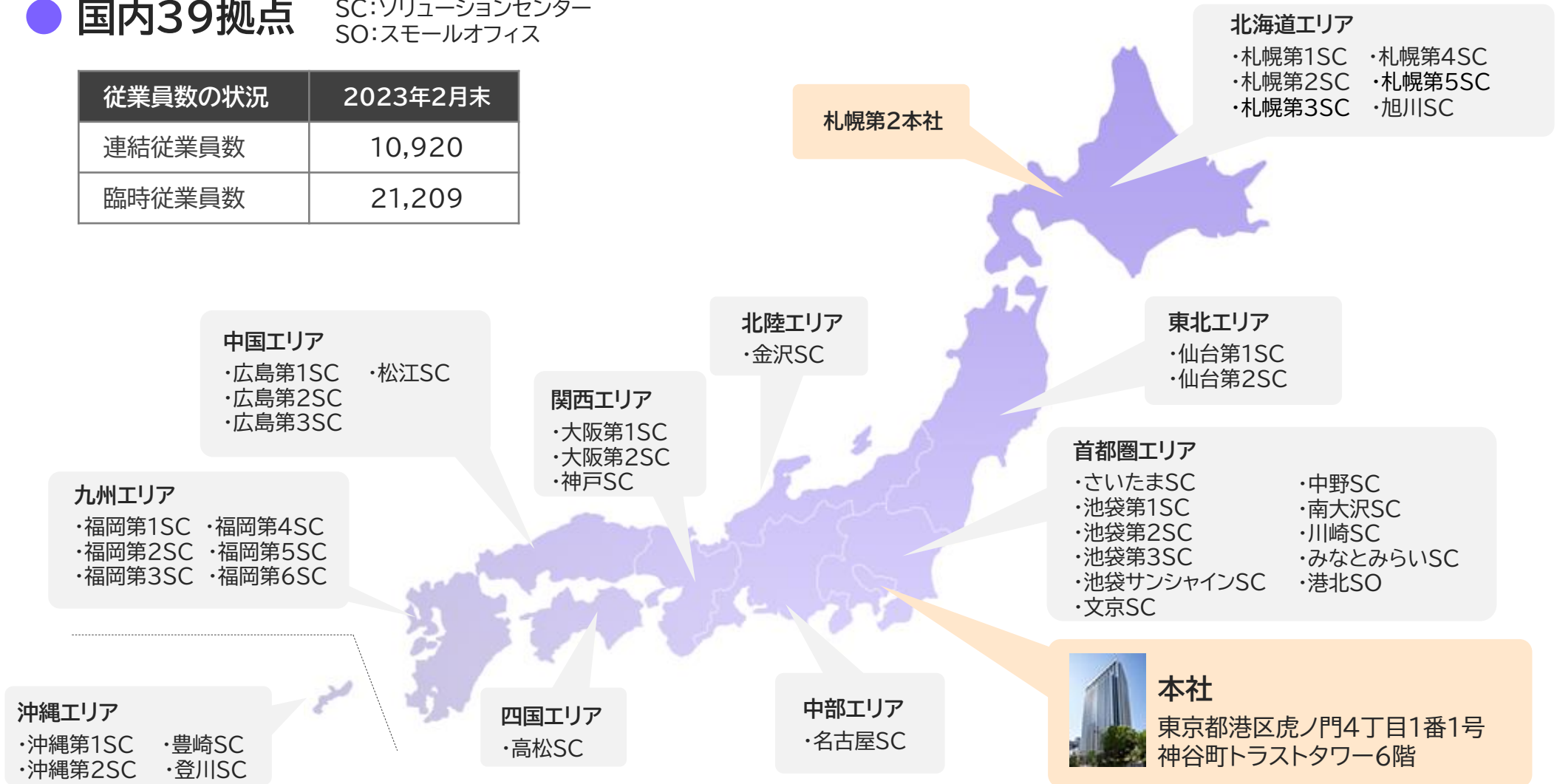
拠点体制 (2023年2月末時点)

2022年度は、首都圏エリア(池袋第3SC)及び九州エリア(福岡第6SC)に新規センターを開設

国内39拠点

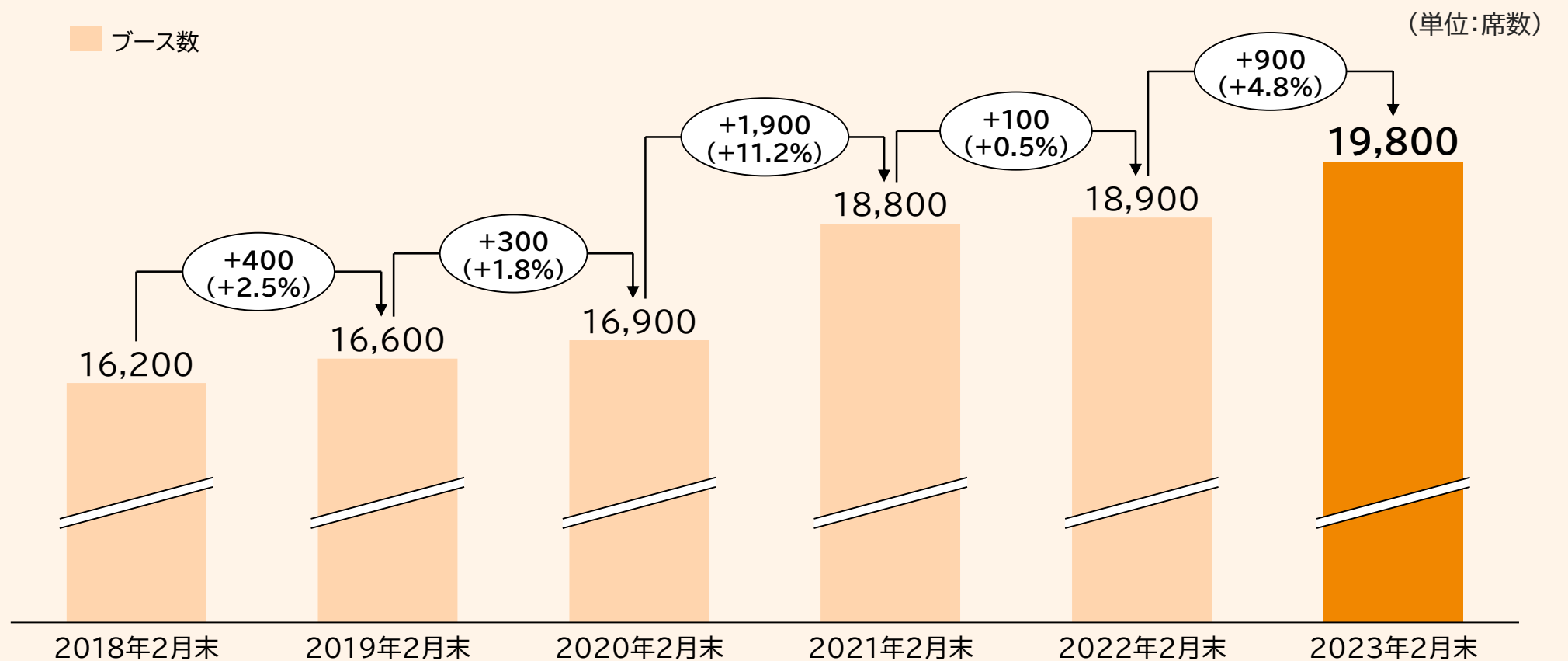
SC:ソリューションセンター
SO:スモールオフィス

| 従業員数の状況 | 2023年2月末 |
|---------|----------|
| 連結従業員数 | 10,920 |
| 臨時従業員数 | 21,209 |



台湾支店 (日商鈴華股份有限公司 台湾分公司)

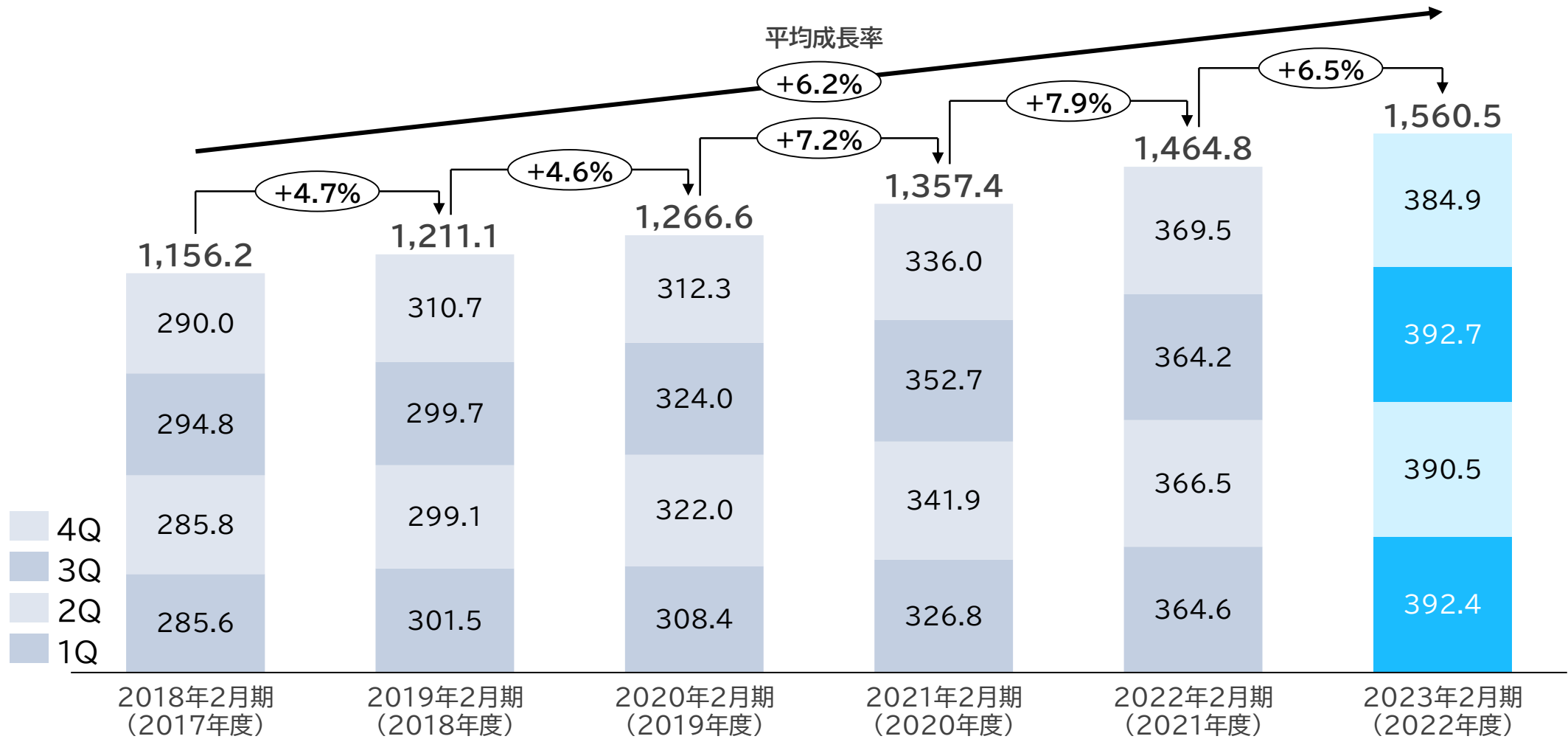
2023年2月末の国内拠点は39拠点、ブース数は約19,800席で前年度末比約900席の増加



※ ブース数は、当社の国内拠点におけるオペレーション業務を実施する席数で、クライアントオフィスやレンタルオフィス(約15,000席)を除く

売上収益の推移

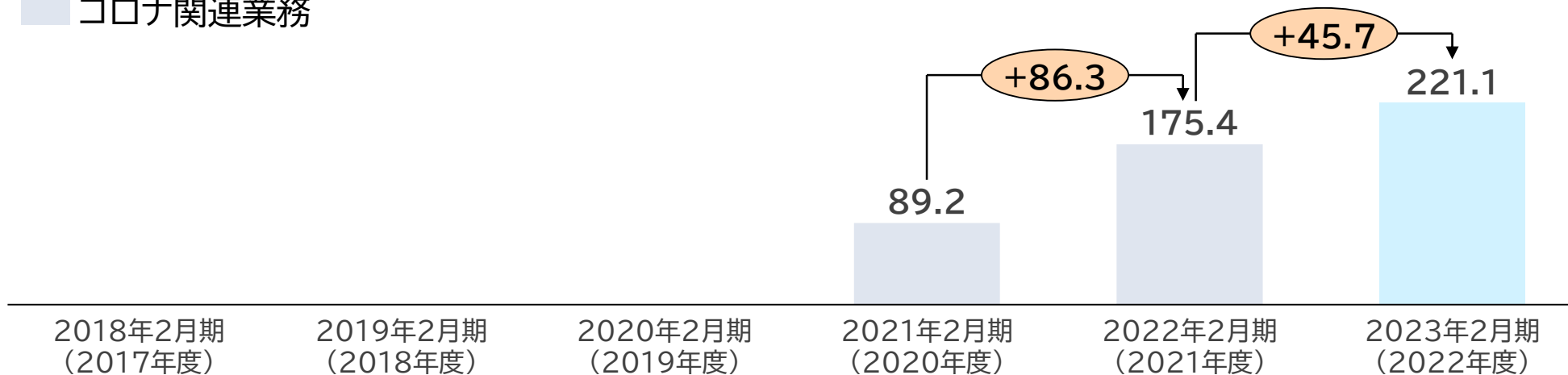
(単位: 億円)



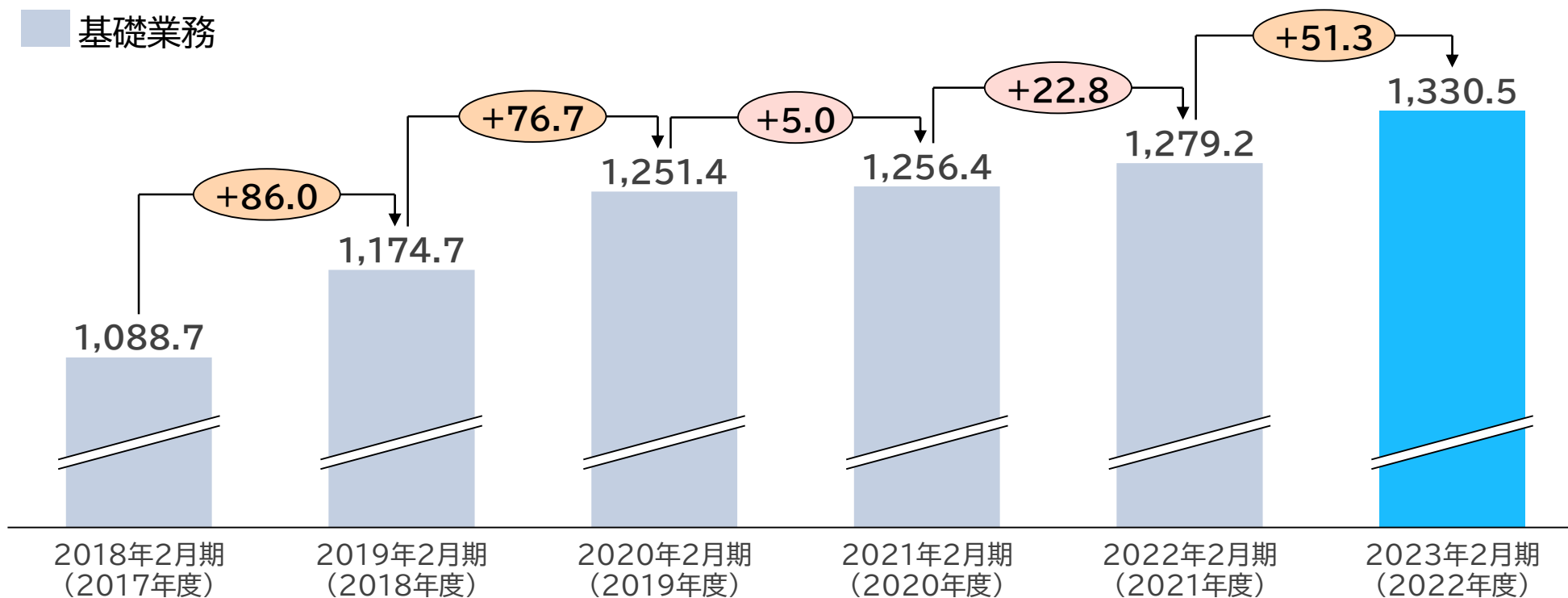
売上収益の推移（基礎業務・コロナ関連業務）

(単位:億円)

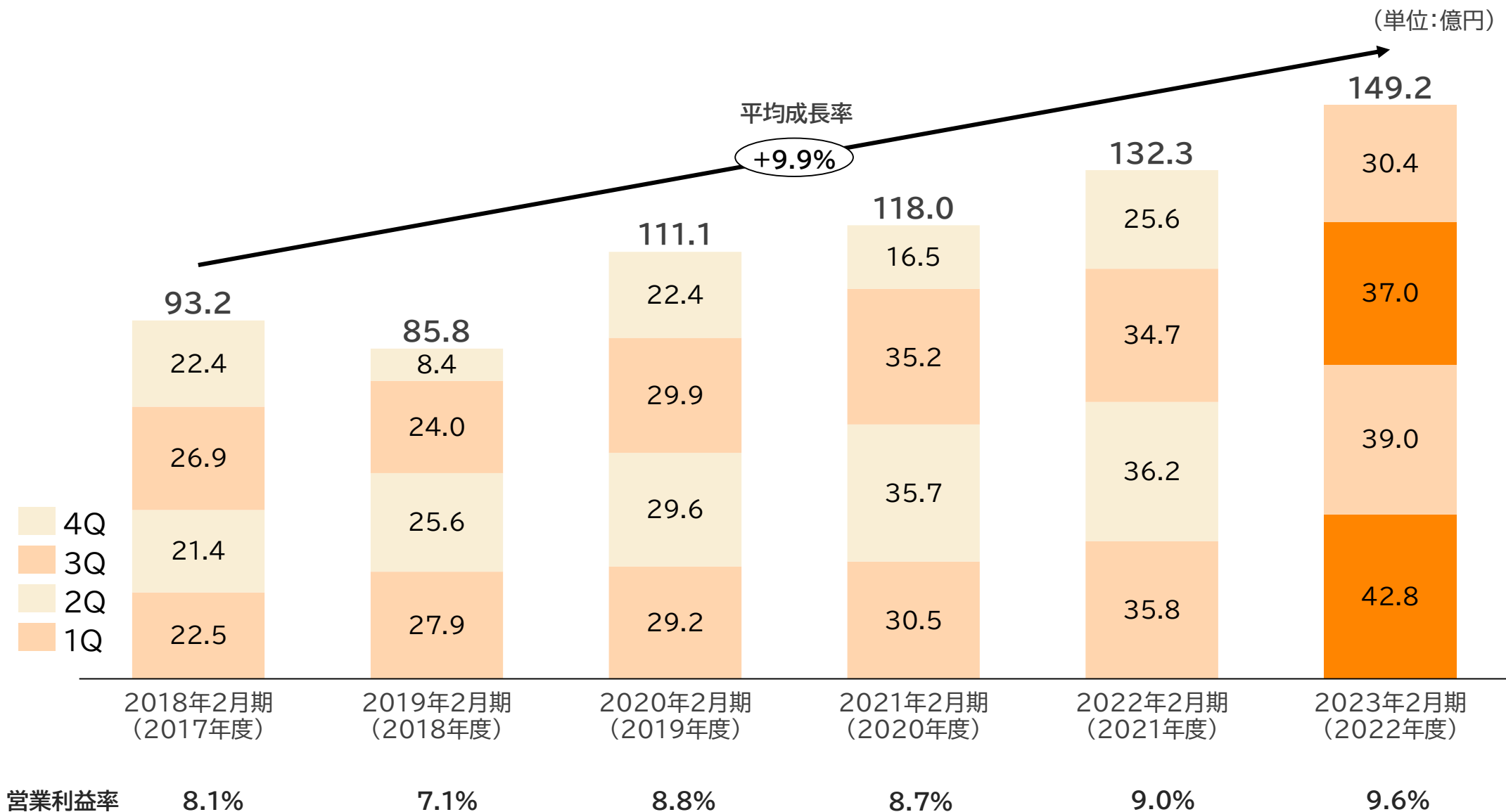
■ コロナ関連業務



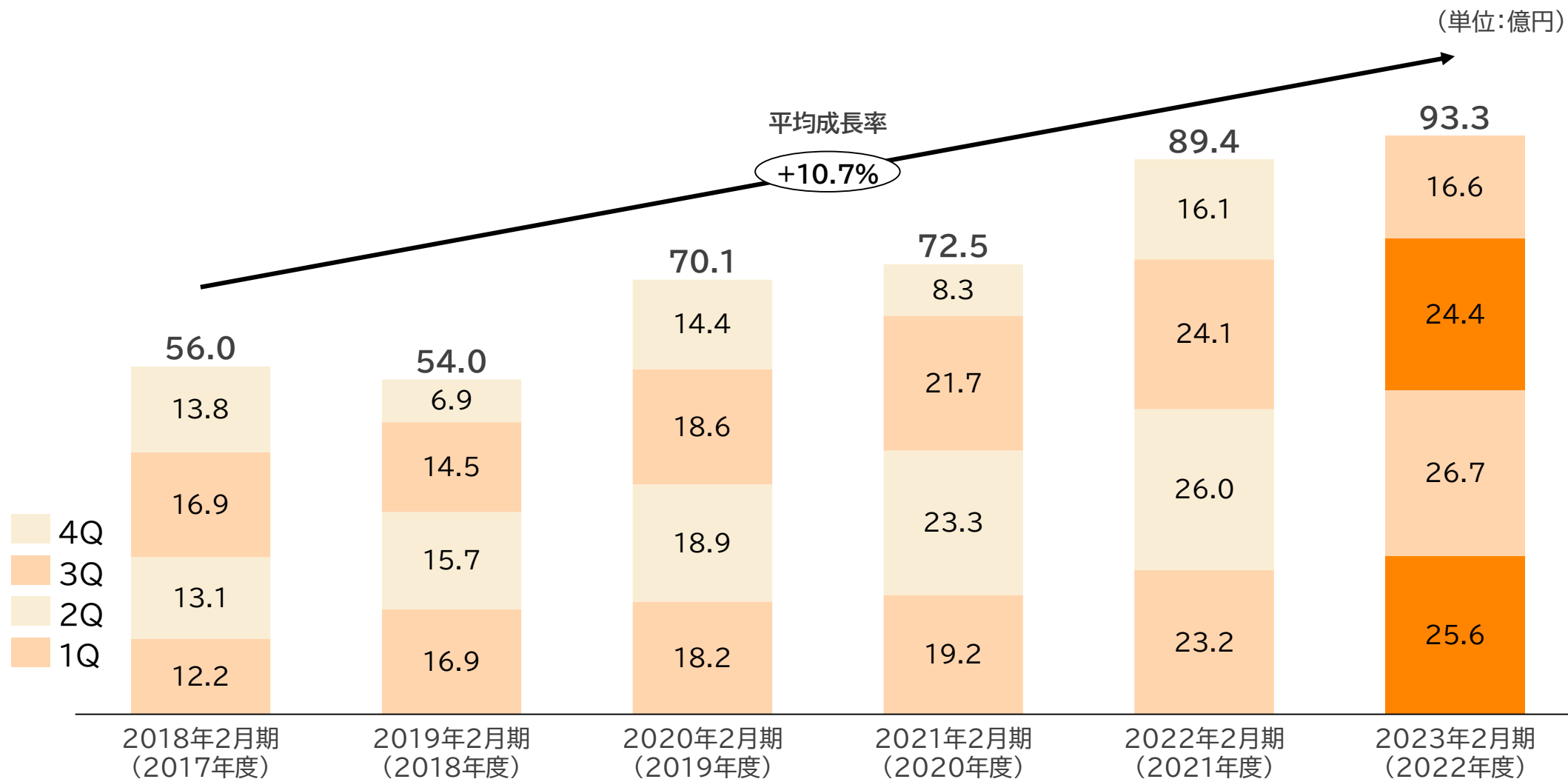
■ 基礎業務



営業利益の推移



当期(四半期)利益の推移



※ 当期(四半期)利益=親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

ご注意

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

